



# 脳腫瘍グループ：悪性脳腫瘍治療開発マップ2021.7

対象		標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な承認薬/ 適応外薬
低悪性度神経膠腫 Grade II・III					
乏突起膠腫 Grade II	IDH変異・ 1p19q欠失	手術 + 経過観察 手術 + 放射線治療 手術 + 化学放射線治療	<b>JCOG1016</b> 放射線+テモゾロミド vs. 放射線+塩酸ニムスチン→テモゾロミド 2014.6～ 	IDH阻害薬 2019～	CCNU PCV療法
退形成性乏突起膠腫 Grade III		手術+放射線+テモゾロミド			
びまん性星細胞腫 Grade II	IDH変異・ 1p19q欠失なし	Low Risk 手術 + 経過観察 (時期を問わない放射線) High Risk 手術 + 放射線治療 手術 + 化学放射線治療	<b>JCOG1303</b> 放射線 vs. 放射線+テモゾロミド 2014.7～ 		
退形成性星細胞腫 Grade III		手術+放射線+テモゾロミド	<b>JCOG1016</b> 放射線+テモゾロミド vs. 放射線+塩酸ニムスチン→テモゾロミド 2014.6～ 		
びまん性星細胞腫 Grade II	IDH1野生型	Low Risk 手術 + 経過観察 (時期を問わない放射線) High Risk 手術 + 放射線治療 手術 + 化学放射線治療	<b>JCOG1303</b> 放射線 vs. 放射線+テモゾロミド 2014.7～ 		
退形成性星細胞腫 Grade III		手術+放射線+テモゾロミド	<b>JCOG1016</b> 放射線+テモゾロミド vs. 放射線+塩酸ニムスチン→テモゾロミド 2014.6～ 		
分子的膠芽腫 Grade IV		手術+放射線+テモゾロミド			




# 脳腫瘍グループ：悪性脳腫瘍治療開発マップ2021.7.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Grade IV 初発膠芽腫	手術+放射線+テモゾロミド ± NOVO-TTF		RT+テモゾロミド vs. RT+ニボルマブ (For MGMT met(-))2016~2017	
神経膠腫			RT+テモゾロミド vs. RT+テモゾロミド+ニボルマブ (For MGMT met(+))2016~2017	
20-70歳 摘出なし			RT+テモゾロミド vs. RT+テモゾロミド+AFTV 2019~	
膠芽腫	20-70歳、 71-75歳全摘出	<b>JCOG1703</b> 全摘出 (90%以上) 手術+放射線+テモゾロミド vs. 手術/ギリアデル+放射線+テモゾロミド 2019.6~ 		CCNU
初発膠芽腫	71-75歳非全摘出、 75歳-	<b>JCOG1910</b> 40Gy寡分割照射+テモゾロミド vs. 25Gy寡分割照射+テモゾロミド 2020.8~ 	70歳~ RT, テモゾロミド (EGG) (MGMTp による割付) 2013~	
再発膠芽腫		<b>JCOG1308C</b> 2016/7~ ベバシズマブ vs. 用量強化テモゾロミド→ベバシズマブ 	BNCT 2016~	
	ベバシズマブ 			

RT: 放射線照射 (局所)、AFTV:自家腫瘍ワクチン、NOVO-TTF : 交流電場腫瘍治療システム、BNCT : ホウ素中性子捕捉療法、MGMTp : MGMTプロモーター領域のメチル化

# 脳腫瘍グループ治療開発マップ 2021.7.

## 転移性脳腫瘍・中枢神経系悪性リンパ腫

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
転移性 脳腫瘍	手術適応のある 1-4個の転移	JCOG0504 手術+追加定位照射 		
	手術適応なし	1-4個：定位放射線照射 多数個：全脳照射 または定位放射線照射	NOVO-TTF 2016~	
中枢神経系悪性リンパ腫	メソトレキセート基盤（寛解 導入）療法±全脳照射 	JCOG1114C 2014.6~ メソトレキセート+全脳照射 vs. メソトレキセート+全脳照射+テモゾロミド→テモゾロミド 		
		PC2104 メソトレキセート基盤寛解導入療法 （+シタラピン地固め） →プラセボ vs チラブルチニブ		